



今からおよそ200年前、たたら製鉄が目的で鳥取城からやって来た侍によって作られたと言われています。そこには鳥取城の石垣を作った技術が応用され、長い間、夏はたたら製鉄、冬は棚田作りを繰り返した結果、今日のような美しい石垣の棚田が完成しました。

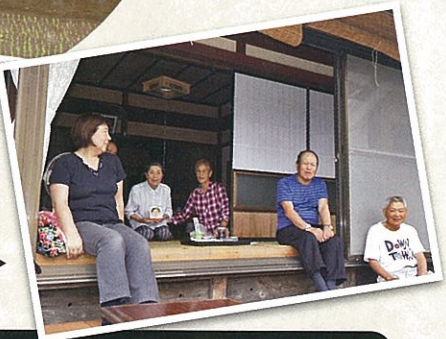
特に都川の石垣は高さ3m~4mを越えるものも多く存在し、まるで城壁のように整然と佇み、重厚な石垣景観をみせています。



棚田の石垣の維持管理はたいへんです。石垣に生えた雑草を放置すると石垣がもろくなり崩れます。大切な棚田を守るため、年に3回の手作業で草取りをしています。

一言ポイント

今からおよそ800年前、戦に負け京都から落ちのびてきた夫婦が、この地に移り住み、そこを流れる川が京都の加茂川に似ていたことから、この地を『都川(つかわ)』と呼び、川を『都川(みやこがわ)』と呼ぶことにしました。これが都川の始まりといわれています。



緑側喫茶

「日本の棚田百選」認定地区

つかわ たなだ

都川の棚田

都川の棚田は、静かな山里の原風景、整然とした石垣が美しい。ここ都川地区の棚田は「文化的景観重要地域及び「日本の棚田百選」にも選定されている。ふるさとの貴重な財産です。

歴史は江戸時代にさかのぼり、当時盛んに行われていた砂鉄を採るための「鉄穴(かんな流し)」によって出た残土を利用して、農地を造成したことが現在の「棚田」の景観を作り出したといわれています。棚田は、急傾斜かつ不整然であるため、維持管理が大変困難ではありますが、ふるさとを愛する人たちの手、そして心で守られ受け継がれています。

■面積 約六七ha
■枚数 約二〇〇枚

DATA

【所在地】浜田市旭町都川
浜田自動車道「旭IC」から車で約20分
【問合せ先】浜田市旭支所産業課 ☎0855-45-1436

【概要】田畑の枚数:約200枚 面積:6.7ha
農家数:11戸 起源:江戸時代
【イベント】緑側喫茶(5~11月・第1・3日曜日)

平成24年度
美の里づくりコンクール
農林水産大臣賞
受賞